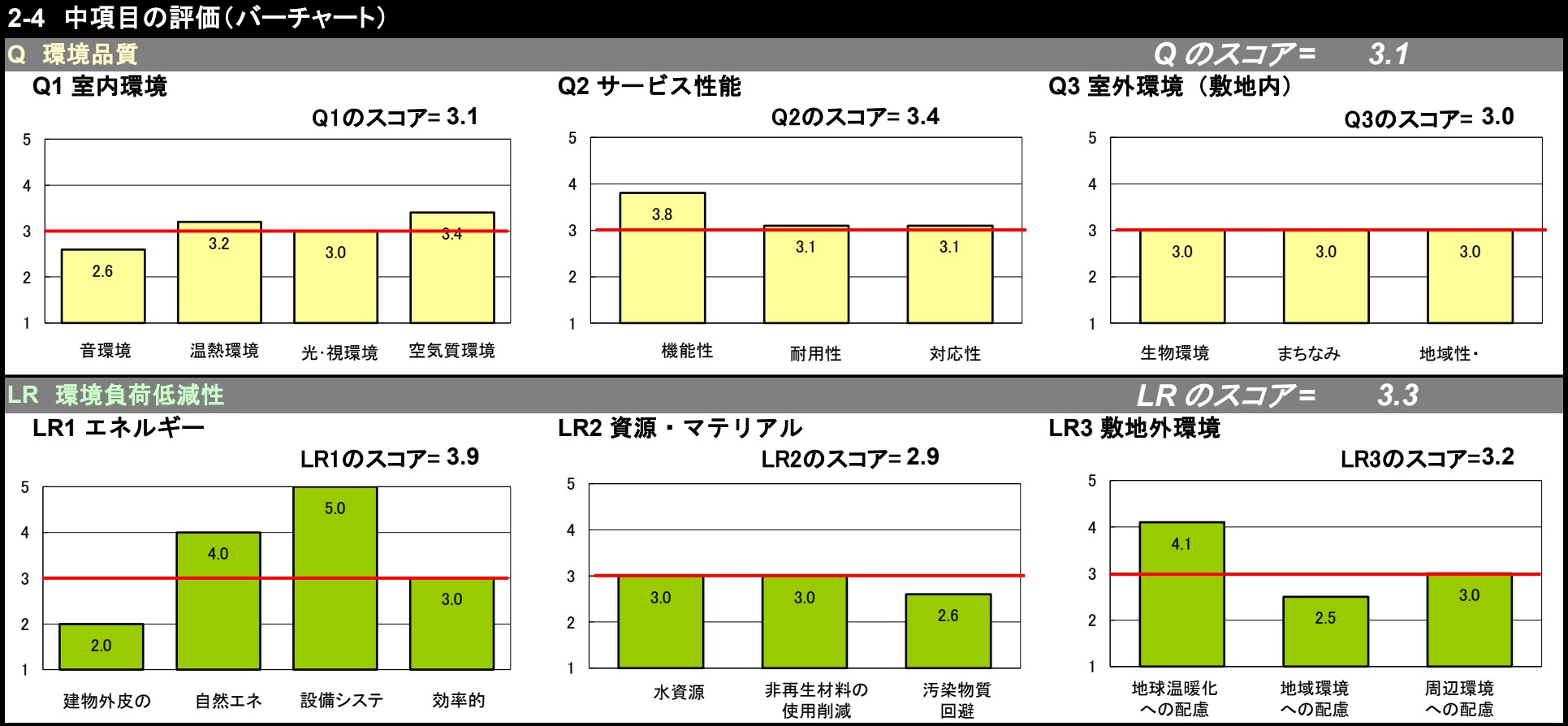
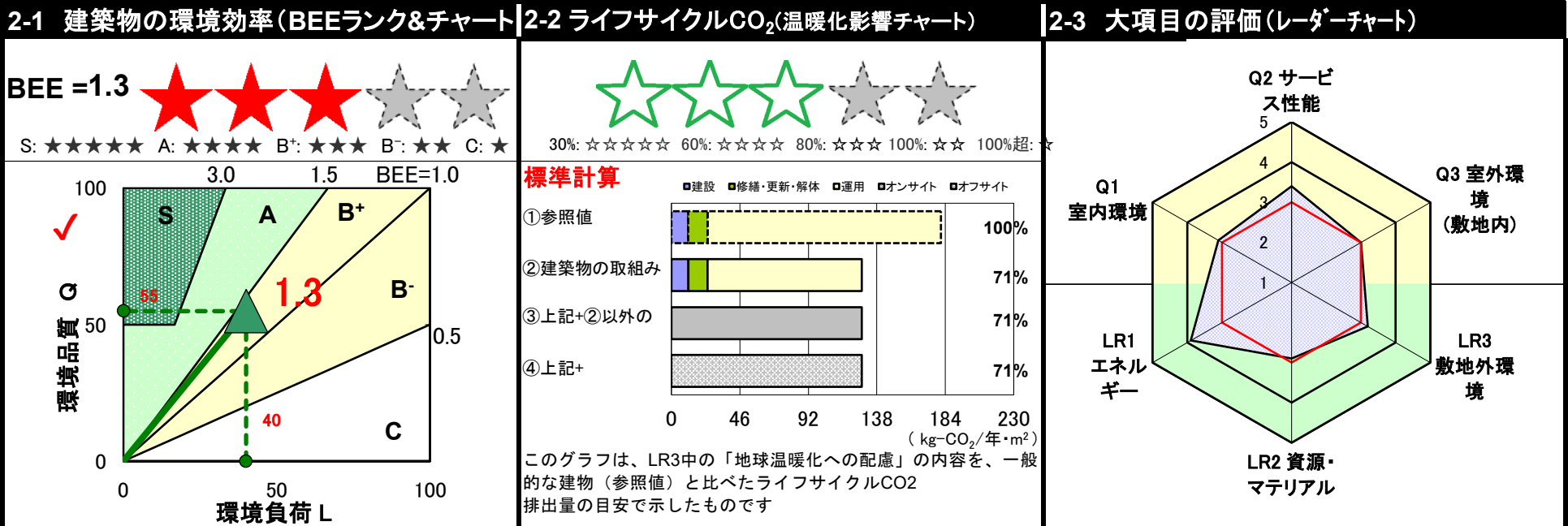


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	岩屋地区計画ホテル 新築工事	階数	地上5F	
建設地	兵庫県淡路市	構造	S造	
用途地域	用途指定無し	平均居住人員	800 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	飲食店,病院,ホテル,	評価の段階	竣工段階評価	
竣工年	2026/04/16 予定	評価の実施日	2026/04/30	
敷地面積	28,773 m ²	作成者	佐藤 大介	
建築面積	3787 3,834 m ²	確認日	2026/04/30	
延床面積	11,441 m ²	確認者	佐藤大介	



LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・海に開けた敷地であるため、ゲストがゆったりとした時間が過ごせるように、部屋の広さや海への眺望を考慮した。 ・海に近いため、塩害対策を施し、錆等への配慮を行った。 ・南北の卓越風に対し、南北には細長く建物を配置し、風の抵抗を最小限に抑えた。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・省エネ基準を満たすように、断熱材を選定し、ガラスにはLowE複層ガラスを用いた。 ・客室には窓を多く用い、換気通風、採光を配慮した。 ・客室ごとの個別空調とし、ゲストごとに最適な空調温	・各客室は広めに設け、天井高も高く設定することで、ゆったりとした時間が過ごせるように配慮した。 ・階高も高めに設定し、配線配管が更新しやすく配慮した。	・周辺との調和を考慮し、落ち着いた色調の素材を外壁に用いた。 ・周辺からの景観を守るため、既存の緑よりも多くの緑を用いた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・全館全熱交換器の採用 ・給湯はガス熱源を用いず高効率ヒートポンプの採用 ・LED照明器具を採用 ・共用部照明については利用に合わせて点灯、調光制御が可能となるような集中制御システムを採用	・トイレでは、節水タイプの便器を用いて、給水量を抑える設計とした。 ・LED照明を多く用い、電力を抑えつつ、照明器具の長寿命によって交換頻度を下げる計画とした。	・敷地内に松の木を列柱させることで、緑多い敷地となるように計画した。 ・既存敷地は更地であり、土ぼこりが周辺へも影響してしまう状態であるのに対し、植栽や舗装によって、土埃が発生しにくいように計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される